

播磨病院生活習慣病療養指導グループ 大阪国際会議場にて6演題発表す！



第42回日本糖尿病学会近畿地方会にて
(2005年11月5日)

播磨病院の医師のみでなく、コメディカルも発表・応援・勉強に
多数参加しました！

メタリックシンドロームにおける
ロスバスタチンの有効性の検討
内科 土居久子医師

既存の薬剤と新規薬剤を比較検討しました

α -GIにて改善を認めた、
糖尿病を基礎疾患として有さない食事性低血圧(PPI)の一例
内科 丸本浩平医師

比較的珍しいPPIを、糖尿病薬で治療

内科開業医の専門性による糖尿病診療に対する
認識の差について
内科 土井晋平医師

地域医療と、糖尿病診療の考察です

播磨病院における糖尿病2泊3日短期学習入院の
取り組みについて
看護部 岡本千嘉子看護師

クリティカルパスの作成に至る工夫です

インスリン自己注射再指導の評価と
リスプロ混合製剤変更の有用性について
薬剤科 石田詞子薬剤師

薬剤師による本格的な研究です(論文化予定)

播磨病院における竹串を用いた
糖尿病神経障害の実態調査
内科 平野智哉医師

ご存じ竹串テストについてです

これからも、新しい知識を吸収して、頑張っていきます！